

小児感染症の第52週(平成24年12月24日から平成24年12月30日)の集計結果

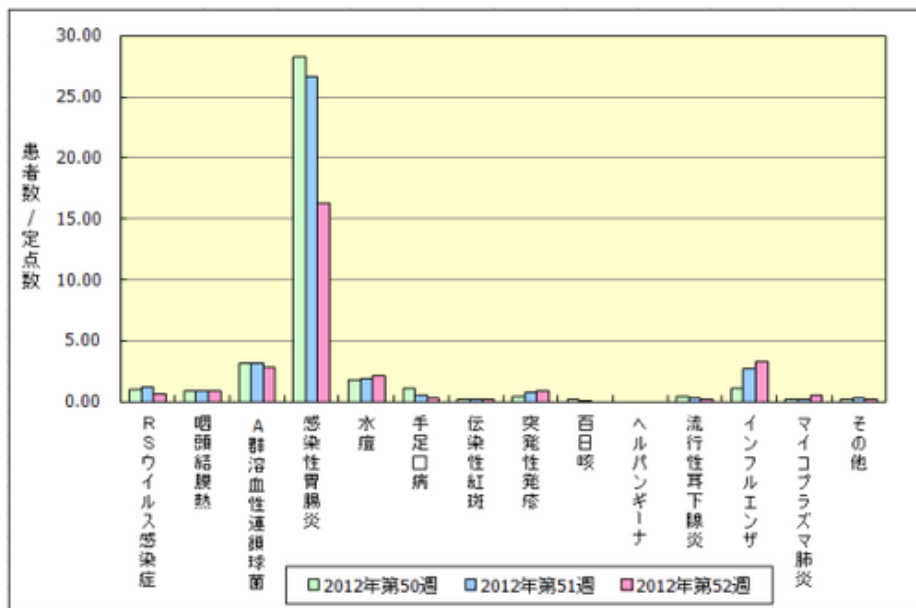
コメント

【今週の傾向】今週は12定点からの報告です。

○感染性胃腸炎は、定点あたり16.3人と減少しました。しかし、患者数の多い医療機関もあります。

○インフルエンザの報告は、51週とほぼ同じです。A型が優勢です。

○風しんの報告がありました。50歳代の男女各1名です。



第52週疾患毎発生状況グラフ

	2012年第47週	2012年第48週	2012年第49週	2012年第50週	2012年第51週	2012年第52週	中央北部	西部	東南部	みなみ野
RSウイルス感染症	17↑	11↓	6↓	14↑	16↑	8↓	6	0	2	0
咽頭結膜熱	9↑	12↑	14↑	12↓	12→	10↓	1	4	4	1
A群溶血性連鎖球菌	33↓	31↓	47↑	44↓	44→	33↓	6	15	7	5
感染性胃腸炎	297↑	349↑	435↑	396↓	374↓	195↓	71	38	66	20
水痘	32↑	28↓	42↑	24↓	26↑	25↓	6	9	9	1
手足口病	8→	4↓	23↑	15↓	7↓	3↓	0	0	3	0
伝染性紅斑	1↑	0↓	2↑	2→	2→	2→	0	0	2	0
突発性発疹	2↓	9↑	12↑	6↓	10↑	10→	4	3	2	1
百日咳	2↑	0↓	1↑	2↑	1↓	0↓	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0↓	1↑	0↓	0→	0→	0→	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	12↑	12→	9↓	5↓	4↓	2↓	1	0	1	0
インフルエンザ	9↑	14↑	7↓	15↑	38↑	39↑	10	13	7	9
マイコプラズマ肺炎	4↓	6↑	4↓	2↓	2→	6↑	1	1	1	3
その他	1↓	0↓	3↑	3→	4↑	2↓	0	0	2	0

第52週疾患毎発生状況表

第52週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	2	0	0	20	2	0	0	5	0	0	0	1	0	0
1歳	2	1	0	24	2	0	0	4	0	0	0	0	0	1
2歳	1	0	3	31	9	2	0	0	0	0	0	4	2	1
3歳	1	2	4	20	1	1	0	0	0	0	0	3	1	0
4歳	0	3	7	20	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0
5歳	0	2	7	17	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0
6歳	0	0	5	11	3	0	0	0	0	0	2	3	2	0
7歳	0	0	0	9	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0
8歳	0	0	1	9	0	0	2	0	0	0	0	5	0	0
9歳	0	0	2	14	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
10～14歳	0	2	2	7	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
10～12歳												3		
13～14歳												1		
15～19歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
20歳以上	0	0	2	11	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
合計	8	10	33	195	25	3	2	10	0	0	2	39	6	2

第52週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野
由井事務所